

日韓挨拶言葉の対照研究

Ra, Sonsuku / 羅, 聖淑

(出版者 / Publisher)

法政大学国文学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

日本文学誌要 / 日本文学誌要

(巻 / Volume)

80

(開始ページ / Start Page)

78 (1)

(終了ページ / End Page)

69 (10)

(発行年 / Year)

2009-07

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00010189>

〈論文〉

日韓挨拶言葉の対照研究

羅 聖 淑

0. はじめに

一般に海外で日本語の学習の際、朝の挨拶は「おはようございます」、昼の挨拶は「こんにちは」、夜の挨拶は「こんばんは」のように時間帯によってそれぞれの表現が用いられると学習して来日するのが殆どである。また、日本語の母語話者も一般にそのように認識している場合が多いだろう。しかし実際の用法において、かなりズレがあるため、海外で日本語を学んだ人が来日してこれらの挨拶言葉の使い方に戸惑うことがある（注1：ここで、韓国で日本語を学び、来日したある牧師の話を紹介しよう。その方が成田空港に夜着いたので、迎えに来た人に「こんばんは」と挨拶をしたら、「こんにちは」という挨拶が返ってきたそうである。そして、次の日の昼12時過ぎに、前日に会った人に会ったとき、「こんにちは」と挨拶をしたところ「お早うございます」という挨拶が返ってきたので、大変戸惑ったという話を聞いたことがある）。

本稿では、日常生活によく用いられる挨拶言葉を中心に、日本語教育における挨拶言葉の用法と、実際使用される場面における用法のずれ及び、羅（2004・2008）を参考に日韓挨拶言葉の類似点・相違点について論ずることとする。

1. 主に朝用いる挨拶言葉

1.1 おはようございます・おはよう

「おはようございます」・「おはよう」は、時間帯で言うと、「朝起きてから正午まで用いる」とされるが、実際には、午前中ばかりではなく、お昼、夕方、真夜中にも仕事を始めるときに用いられる。その理由として次のようなことが考えられる。第一に、新しい気持ちで朝を迎えたときに用いる「お早うございます」という挨拶言葉を、時間帯に関係なく、仕事が始まる前に用いることによって、朝と同様に新鮮な気持ちで仕事を始めるという意味合いが含まれていると考えられる。第二に、時間帯で昼と夜に用いるとされている、「こんにちは」と「こんばんは」には敬語を表わす語形がないため、このような場面では、やはり敬語形になっている「おはようございます」が時間帯を越えて用いられるようになったと思われる。この表現は、その日初めて会う友達などの間でも

よく用いられる。例えば、大学で夕方その日初めて会った女子学生同士が、「おはよう」という挨拶を交わしている場面を時々目撃する（羅2008：p.24）。そして、筆者が、午後や夕方授業があるとき、その授業の前に廊下で会う受講生より、「先生、おはようございます」と挨拶されることも時々ある。なお、男子学生は「こんにちは」と言うか、あるいはただお辞儀をする場合が多い。しかし、男子学生同士では、主に「よっ！（「おはよう」・「元気？」などの意味）が用いられている。

また、朝のウォーキングやランニングなどで、初めてすれ違う人たちの間でも、この挨拶言葉が交わされる。それは、仲間意識によるものであると考えられる。

1.2 안녕히 주무셨어요? (アンニョンヒチュムショッソヨ：よくお休みになりましたか「おはようございます」)・잘 잤어? (チャルチャッソ：よく眠ったか「おはよう」)

1.1で述べたように、日本語の「おはようございます」は、場面によって一日中用いられるが、‘안녕히 주무셨어요?’は、朝起床して朝ご飯を食べる前後までにのみ用いられる挨拶言葉である。‘잘 잤어? (チャルチャッソ：よく眠ったか「おはよう」)’は、目下の人・同年齢の相手に用いられる。朝用いる日本語の「お早うございます」は、英語の‘Good morning’のように単なる「朝の挨拶」というイメージがあるが、韓国語の場合は「安寧に眠ったか」という意味で、表現内容が実質的であると言える。ただし、日本語も英語も場合によって「お早うございます」の後に、「よくお休みになりましたか」などと付け加えることはある。‘안녕히 주무셨어요?’より丁重な表現として‘안녕히 주무셨습니까? (アンニョンヒチュムショッスムニカ)’がある。

なお、韓国語には一日中用いられる表現として‘안녕하세요?’ (アンニョンハセヨ：安寧でいらっしゃいますか「お早うございます・こんにちは・こんばんは」)がある（注2：この表現は中国語の挨拶言葉「你好（ニハオ）」と用法が類似している）。

2. 主に昼間用いる挨拶言葉

2.1 こんにちは

「こんにちは」が用いられるとされる時間帯は、太陽がある程度昇った10時頃から夕方までが一般的であるが、実際は夜に用いられる場合もある。

また、初対面の人に用いられる場合もある。「はじめまして」は、本当に初めて会うニュアンスが強い挨拶言葉であるのに対し、「こんにちは」は、初対面であっても、話し手が聞き手にすでに受け入れられた前提で交す、親しみを含む初対面の挨拶言葉である。

なお、「こんにちは」はフォーマルで改まったイメージもあるため、親しい友人同士の間ではあまり用いられていない。若年層では、友人や同級生等にその日初めて会ったとき、時間帯に関係なく主に「おはよう」が用いられている。

また、両言語において言えることであるが、山登りなどで、初めてすれ違う人に対し

て「こんにちは」‘안녕하세요? : アンニョンハセヨ’ と、高いトーンで挨拶を交す場面を見かける。これは、相手との距離が少しあるため聞き取りやすくする為でもあれば、初対面の人であるので、高いトーンではっきりと発音し、丁寧さを表していることであろう（注3：聞き手に対する丁寧さについては、荻野他（1991）を参考されたいが、日本では「大学の先生」に対する丁寧さが最も高く、その次が「50歳の初対面の人」であった。そして、韓国では、「50歳の初対面の人」が最も高く、その次が「大学の先生」であった。いずれにせよ両言語において初対面の人にはかなり丁寧に待遇するのである）。それが、挨拶言葉にも表れていると言える。

また、「こんにちは」には、「お早うございます」の「- ございます」のような丁寧体語尾がないため、相手の年齢や職階などに関係なく用いられる。しかし、これに当たる韓国語の挨拶言葉は、2.2で見るように、相手の年齢などによって異なる待遇表現を用いているのである。

2.2 안녕하세요?・안녕? (アンニョンハセヨ・アンニョン: 安寧でいらっしゃいますか「お早うございます・こんにちは・こんばんは」)

‘안녕’を漢字で表すと「安寧」となり、文字通り、「安らかで平安」の意味がある。‘안녕하세요?’・‘안녕?’は、日本語の「お早う、こんにちは、こんばんは」より、実質的な表現内容となっている。‘안녕하세요?’より丁寧な表現として‘안녕하십니까?’(アンニョンハシムニカ)がある。そして、親しい友人や目下の人には‘안녕?’「アンニョン」が用いられる。

この挨拶言葉は、その日初めて会う知り合いに対して用いるが、初対面の人にも用いられる。そして、一日中用いられる。なお、初対面の人同士で交す挨拶言葉は、‘처음 뵙겠습니다 (チョウムベッケスムニダ: 初めてお目にかかります「初めまして」)」であるが、‘처음 뵙겠습니다’は改まった表現であるため、柔らかい表現である‘안녕하세요?’が初対面の人に用いられることもある。このことは、2.1で述べたように、日本語の「こんにちは」にも同様の用法がある。

なお、‘처음 뵙겠습니다’は、謙譲形であるが、同じ語形のぞんざい体がないため、目下の人などには別の表現‘만나서 반갑다: マンナソパンカプタ「会えて嬉しい」」などが用いられる。これも、実質的な表現内容となっている。

また、近隣の親しい人に道端で会ったときには、‘안녕하세요?’の代わりに、‘어디 가세요? (オデিকাセヨ: どちらへお出かけですか)’が、大人の間でよく用いられる。日本語においても韓国語と比べ用いる頻度は少ないが、「どちらへ?」のように、挨拶をする場合がある。両言語において言えることは、立ち入る質問的な表現ではあるものの、言う人は相手から特に正確な答えを期待しているわけではない。しかし言わないと、相手に無関心だと思われることもありうるので、言うことによって、人間関係をより円滑に保つためであろう。この場合、日本では、「ちょっとそこまで」、韓国では

‘불일이 좀 있어서 (ボルイリチョムイソ 「用事がちょっとありまして)」’のように、両言語共ばかした返答をすることになる。

さらに、久しぶりに会う目上の人には ‘건강하세요?’ (コンガンハセヨ: ご健康でいらっしゃいますか (逐語訳): 「お元気ですか」) と挨拶をする。日本語でも同様な挨拶をする場合がある。ただし、日本では、「お元気でいらっしゃいますか」と挨拶をされた場合は、挨拶をしてくれた人のお陰ではなくても、「はい、お陰様で」のように言う。しかし、韓国語の場合は、お陰で元気であると思うとき以外は、‘덕분에 (トクブネ 「お陰様で」)’ という表現はあまり用いないのが常である。

3. 夕方に用いる挨拶言葉「こんばんは」

「こんばんは」は、夕方から夜の間、その日初めて会う知り合いの人に用いる親しみを含む挨拶言葉である。したがって、一般的に初対面の人にはあまり用いられていないが、親しみを表すと思う場合は、初対面の人にも用いられる。例えば、夜のセミナーで演壇に立つ講演者が聴衆に、または、ステージに立つ芸能人が観衆に、この挨拶言葉を用いるのである。それは、講演者や芸能人が聴衆や観衆に親しみを含めて言う挨拶言葉であろう。

これに対応する韓国語はやはり ‘안녕하세요? (アンニョンハセヨ: 安寧でいらっしゃいますか 「お早うございます・こんにちは・こんばんは」)’ である。

なお、日本語の「こんにちは」と「こんばんは」は、敬語形を持たないが、韓国語の主たる挨拶言葉にはすべて敬語形が存在する。

4. 寝る前に用いる挨拶言葉

4.1 お休みなさい

この挨拶言葉は寝る前に用いるとされるが、実際は、①夜寝る直前にも用いられるが、②夕方近所の人などとの別れの挨拶としても用いられる。例えば、近所の奥さん同士で、家の前などでお話をした後、別れる時、相手がすぐ寢床につかないと思われる時間帯でも、「では、お休みなさい」と挨拶を交す (羅2004・2008: p. 25)。

4.2 안녕히 주무세요・잘 자 (アンニョンヒチュムセヨ・チャルチャ: 安寧にお休みください (逐語訳): 「お休みなさい・お休み」)

日本語の「お休みなさい」に相当する韓国語の ‘안녕히 주무세요’ は、寝る直前、目上の人に用いる挨拶言葉であり、日本語の4.1-②のような用法はない。‘안녕히 주무세요’ より丁寧な表現は ‘안녕히 주무십시오 (アンニョンヒチュムシプシオ)’ である。そして、目下の人には ‘잘 자 (チャルジャ: よく眠って (逐語訳): 「おやすみ」)’ が用いられる (注4: 韓国一般の家庭では、日本のような浴槽の中でしばらく湯に浸る習慣はあまり一般的ではなく、西洋のようにシャワーのみですませる場合が多い。したがって、母親が、眠りに就こうとしている子供に ‘잘 자’ の代わりに、‘씻고 자: シッコジャ 「洗って寝て」’

とも言う)。

5. 別れに用いる挨拶言葉

5.1 さようなら

別れのとき用いる代表的な挨拶言葉として、「さようなら」があるが、これは改まった場面や日常会話で用いられる。しかし、実際の日常会話において、親しい友人の間、目下の人には「バイバイ」、「じゃ、ね」、「また、ね」、「では、また」などが一般的によく用いられる。しかし、恋人同士が「さようなら」と言ったときは、本当に別れることを意味する場合もある。

5.2 失礼します

「失礼します」は、主に、①人の前を横切るとき、職場などで他の人より先に帰るときや、上司の個室や研究室などに出入りするときに用いる挨拶言葉であるが、別れの挨拶言葉としても用いられる。

ある場所を先に出る時、先に出る人が残っている人に対して、一般に「お先に失礼します」と挨拶をする場合が多い。韓国語も同様の意味をもつ ‘먼저 실례하겠습니다 (モンジョシルレハケッスムニダ)’ または、‘먼저 가요 (モンジョカヨ「先に帰りますね」)’ などが用いられる。このような場面の返答として一般的に、「お疲れ様でした」が用いられる場合が多いだろう。しかし、②改まった場面や上下関係がはっきりしている大学のサークルの監督や先輩が先に帰るとき、残っている後輩は、先に帰る監督や先輩に対しては、「失礼します」と挨拶をする。この場面で、「お疲れ様でした」を用いるのは監督や先輩に失礼に当たるとされているためである（注5：大学で部活に入っばかりの新入生が、このような場面でどういう挨拶言葉を用いたらよいか戸惑う場合もあるようである）。しかし、韓国語においては②のような用法はない。

また、日本語の「失礼します」は、電話を切るときなどにも用いられる。面白い表現であるが、韓国の中年以上の知り合い同士で、電話を切るときに、‘들어가세요: 토히로카세요「お入りください(逐語訳)：では、失礼します」’ と挨拶する。電話を切るとき「切る」の意味に当たる表現もあるが、それは話し手が先に切ると多少冷たい感じがするため、「どうぞ、電話口からお先に離れてください」というニュアンスの‘들어가세요’ が用いられているのである。

5.3 お疲れ様でした

「お疲れ様でした」は労を労うときに用いる挨拶言葉であるので、仕事などを終えた後、その場を去る人に対して別れの挨拶言葉として用いられるのである。しかし、5.2 で見るように、目上の人に対して用いるのは失礼だとされる場合もある。そのため、学校の先生には授業のあと、「お疲れ様でした」ではなく、「ありがとうございました」と挨拶すべきだとされている（羅2008：p. 28）。ところで、学校の場合はそれでよいだろう

が、一般の会社では、上司が帰るとき、「ありがとうございました」と部下が挨拶をすると、奇妙に聞こえるだろう。会社という組織は、上司も部下も共に働くことにより会社の利益がもたらされる。そのため、上司にも「お疲れ様でした」がゆるされ、そして部下には「お疲れ様でした・お疲れ」が用いられるのであると考えられる。企業などにおいて、この表現が最もよく用いられる別れの挨拶言葉であろう。

5.4 ① 안녕히 가세요 (アンニョンヒカセヨ) / ② 안녕히 계세요 (アンニョンヒケセヨ)

日本語の「さようなら」に当たる韓国語の別れの挨拶言葉には、日本語と違い、① ‘안녕히 가세요’・② ‘안녕히 계세요’ の2種類の表現がある。①は、その場を離れる人に対して用いられ、②は、その場に留まる人に対して用いられる。そして、最も丁寧な表現として、③ ‘안녕히 가십시오 (アンニョンヒカシプシオ：①に対応)’、④ ‘안녕히 계십시오 (アンニョンヒケシプシオ：②に対応)’ がある(注6：ここで、別れの挨拶言葉に関する余談を一つ言うことにする。確か2002年だったと思うが、NHK ラジオの午前11時台の番組で、作家村山孚氏の『明るくボケよう』という著書の中に、氏がご自分の死後、葬式に参列する人宛に書いた挨拶文の朗読が流れていた。その挨拶文の最後の部分に「さようなら」、「再見」(中国語)の後に韓国語の別れの挨拶言葉が紹介されていた。それが、その場を去って行く人に対して用いる別れの挨拶言葉である上記の③であった。③は、この世を去り、あの世に行く人に対しては用いられうるが、まだ生きていて葬式に参列している人に対しては、留まる人に対して用いる④が相応しいのである。筆者は早速これについての見解を書き、NHKにファックスし、著者に届けてもらった。数日後、村山氏から大変ご丁寧な礼状とご高著が送られてきた。氏は、日本語の「さようなら」のように、韓国語においても別れの挨拶言葉が ‘안녕히 가십시오 (アンニョンヒカシプシオ)’ の一種のみだと思ったとのことであった。

なお、葬式に参列した人が帰るとき、家族の代表が、参列者に対しては、その場を去っていく人に対して用いることになっている③が相応しいのである。ついではあるが、村山氏の文章は、大変簡潔明瞭で読みやすい。

また、友達や目下の人に対しては用いる別れの挨拶言葉として、⑤ ‘잘 가：チャルカ (①に対応)’、⑥ ‘잘 있어：チャルイッソ (②に対応)’ がある。そして、⑤と⑥の代わりに ‘안녕：アンニョン 「バイバイ」」 を用いることもあるが、この表現には親しみと可愛いイメージが含まれている。‘안녕’ は2.2で見ると、その日初めて会った友達や目下の人にも用いる挨拶言葉でもあるので、大変便利な表現である(注7：ハワイ語の「こんにちは・さようなら・ありがとう」などの意味を持つ ‘aloha’ は ‘안녕’ より便利な表現である)。

6. 謝罪に用いる挨拶言葉

6.1 すみません

①「すみません」は謝るとき用いる挨拶言葉である。しかし、外国人に日本語を教える際よく話題になる話の一つとして、②日本のレストランなどで、食べ物を注文するため、ウェイトーを呼ぶ際、「すみません」という謝るとき用いる表現である。日本の母語話者の立場からは、他のことをしているウェイトーを、そのやっていることを一時止めさせ、自分のテーブルに呼び寄せることは悪いので、謝りの言葉を用いると解釈ができれば。しかし、客がウェイトーを呼んで食事を注文するのが当たり前だと思う外国人から見ると、「すみません」という謝るとき用いる表現をすることは、奇妙に聞こえることだろう（注8：若年層の話し言葉では、「すみません」ではなく、「すいません」と言うのが一般的である）。

さらに、③この表現はお礼を言うときに用いることもあるが、あまり丁寧な感じがしないとされる。お礼を言うときは「ありがとうございます」がやはり丁寧な表現であると考えられるので、「どうも、すみません」の後に、「ありがとうございます」を付け加えるのが、やはりより丁寧な表現になるだろう。

6.2 ①미안합니다・②죄송합니다 (①ミアンハムニダ・②チェソンハムニダ「すみません・申し訳ありません」)

‘미안합니다’・‘죄송합니다’は謝るとき用いる表現であるが、②が①より丁寧な表現である。しかし、日本語の6.1-②のように、レストランで、ウェイトーを呼ぶとき用いるような用法はない。その場合は、‘여기요 (逐語訳：「ここです」)’と言い、自分の居場所を知らせ注目してもらう狙いがある。

7. 食事の前後に用いる挨拶言葉

7.1 ①いただきます／②ごちそうさまでした

日本では家庭内や外でも食事の前後に、それぞれ「いただきます」・「ごちそうさまでした」という決まり切った表現をする。このように決まり切った音形・語形が、同場面で繰り返されることを杉戸（1981：p.47）、沢木・杉戸（1999：p.128）では、「定型性」と言う。本稿ではこれに因んで、同場面で繰り返される決まり切った表現を「定型表現」と言うことにする。

7.2 ①‘잘 먹겠습니다 (チャルモッケスムニダ「いただきます」)・②잘 먹었습니다 (チャルモゴッスムニダ：「ごちそうさまでした」)

7.1-①と②に相当する韓国語の表現は、それぞれ①‘잘 먹겠습니다 (チャルモッケスムニダ「いただきます」)・②잘 먹었습니다 (チャルモゴッスムニダ：「ごちそうさまでした」)である。しかし、韓国語のこれらの表現は、韓国では家庭内ではあまり用

いないが、主に外部で食事や食事代を出してくれた人に対して、感謝の気持ちを表すときのみ用いるのが一般的である（羅2004：p. 26・2008：pp. 26～27）。この点、韓国語の表現が日本語より、実質的な表現となっていると言える。

7.3 この間は御馳走様でした。

日本ではお世話になった所で一度お礼を言ったあと、次に会うときや電話で話すときに、「この間はお世話になりました」のように、必ずもう一度お礼を言うのが社会習慣化されている（羅1992：p. 90）。これと同様に、食事を御馳走になった後も「この間は御馳走様でした」のように、必ずもう一度お礼を言うことになっている。そう言わないと、御馳走した人が相手に十分にやって上げなかったのかと不安を感じると共に、二度目のお礼の言葉がない相手が無礼な人だということにもなりかねない。この点、韓国とは多少異なる。韓国では、御馳走をしてくれた相手にその後会ったときに、「この間は御馳走様でした」のようにもう一度お礼を言うより、具体的な中身について褒める。ただし、日本でも、「この間は御馳走様でした」の後に、食事の中身について述べることはある（注9：アメリカにおいても意外に、日本のように御馳走になったあと次の日に会った時などで、例えば、“The dinner was so good, Thank you again.”のように、食事の中身を褒めると共に、二度目のお礼の挨拶言葉を述べる）。

8. お世話になっている相手に用いる挨拶言葉「お世話になっております」

日本語では、会社の取引先からの電話の最初の対応に、「お世話になっております」という挨拶をする。この場合は、商売させていただいている感謝の気持ちを表す表現となる。しかし、現在は単に社交辞令的に用いられる場合が多い。例えば雇われている顧問弁護士、税理士などに対しても用いられているのである。さらに、当人とは直接関係のない妻が、夫の勤務先に電話をかけた際もこのような挨拶言葉が返ってくるのである（羅：1992：p. 90）。

しかし、これを韓国語に逐語訳すると、‘신세지고 있습니다（シンセジゴイッスムニダ）’となるが、‘신세지다（シンセジダ「お世話になる」）’という動詞を「テイル形」で用いるのはあまり一般的ではない。また、‘신세지다’という動詞は日本語ほど頻繁に、そして phatic 的に用いられるのではなく、本当にお世話になった相手に‘신세 많이 졌습니다（お世話になりました）’のように用いるので、実質的な表現となっている。

9. お店の従業員が客を迎える時用いる挨拶言葉「いらっしゃいませ」

「いらっしゃいませ」は、お店の従業員が店を訪ねてきた客を迎え入れる際用いる挨拶言葉である。この表現は、①一人一人に対して用いることもあれば、②不特定多数の人に用いる場合もある。②の不特定多数の人に用いる場合、例えば、デパートの開店の時、開店の前からデパートの正面玄関で待っていた客が一斉に入る際、入口で数人の店

員が一行に並びお辞儀をしながら丁寧な声で、「いらっしゃいませ」ということは挨拶言葉になる。

しかし、不特定多数の人に対して、顔をほとんど見ず、大きな声かつ、尻上がり調子で「いらっしゃいませ」と繰り返して言う場合は、音形・語形が同じであっても挨拶とは言いがたい。例えば、市場の魚屋さんや八百屋さんなどがそれに該当する。これは、挨拶言葉と言うより、職場を活気づけると共にお客を呼び寄せるために用いる囃し立て声であると言える。

やはり、一般的に挨拶言葉とは、人の顔を見て、丁寧に挨拶言葉を発することにより、相手の気持ちを和らげ、相手はまた挨拶をする人を受け入れる状態にさせることにより、人間関係をよくする潤滑油的なものでなければならない。

韓国語の ‘어서 오십시오 (オソオシプシオ「いらっしゃいませ」) は、客を出向かえるとき用いる日本語の 9-①に相当する挨拶言葉である。そして、9-②の用法を持つ表現としては、‘싸요 (サヨ「安いです」) などがあ

10. 新年に用いる挨拶言葉「(明けまして) おめでとうございます」

日本語の「(明けまして) おめでとうございます」は phatic な表現であるが、韓国語の新年の挨拶 ‘새해 복 많이 받으세요 : セヘボンマニパドゥセヨ (新年に福を沢山お貰いください (逐語訳))」は、最も実質的な意味が含まれている挨拶言葉の一つである。

11. おわりに

これまで、挨拶言葉の代表的な表現の幾つかを取り上げ、日韓の挨拶言葉の言語行動の相違点と類似点について述べた。その結果以下のようなことが言える。

第一に、日本語の挨拶言葉は、社交辞令的に用いる定型表現が多い半面、韓国語の場合は表現内容がより実質的である。第二に、類似点として、両言語とも敬語が発達しているため、挨拶言葉の表現にも上下関係が表されていることがわかる。ただし、日本語の「こんにちは」、「こんばんは」、「さようなら」には敬語形がないが、韓国語の基本的な挨拶言葉には、すべて敬語形が存在する。ここで言えることは、韓国の社会が日本の社会より、挨拶言葉の言語行動において上下関係がより厳しいことである。

なお、挨拶言葉とは、phatic であれ、実質的であれ、人間関係を円滑に保つための潤滑油的な役割を持っていることは言うまでもない。

<参考文献>

- 荻野綱男・金東俊・梅田博之・羅聖淑・蘆頭松 (1991) 「日本語と韓国語の聞き手に対する敬語用法の比較対象」, 『朝鮮学報』136, 朝鮮学会
 沢木幹栄・杉戸清樹 (1999) 「世界のあいさつ言葉の対照研究に向けて—あいさつ言葉への視点」, 『国文学』5月号, 學燈社
 杉戸清樹 (1981) 「あいさつの言葉と身振り」(「ことば」シリーズ14 文化庁)

村山孚 (2000) 『明るくボケよう』 草思社

羅聖淑 (1992) 「韓国と日本の言語行動の違いー既婚女性の呼称を中心に」『日本語学』12月号, 第11巻第13号, 明治書院

羅聖淑 (2004) 『韓国語 発音と文法』 白帝社

羅聖淑 (2008) 『韓国語 発音と文法ー第2版ー』 白帝社

(ら そんすく・本学兼任講師)